

職場紹介インスタグラム 運用方法

運用の基本方針

- (1) あらゆる職種・採用形態を対象とした仕事内容等の幅広い発信により、多様な人材の入職促進を図る。
- (2) 協議会による発信のほか、県内の建設産業で活躍する人の自発的な発信を促し、参加型のアカウント運用を目指す。
- (3) 一方で、産官でのチェックにより、入職促進を目的とした情報としての信頼性・堅実性を確保する。

バランス、
両立に留意

発信情報Ⅰ

若手社員による仕事紹介

(技術職・事務職、内業・外業、新卒・中途等問わず)

(1) 投稿企業リスト 投稿の中心

週1回の投稿を行うための投稿企業リストを作成し、Q A方式の記事を作成。

案) 協議会構成業界団体の会員企業にてリストを作成
⇒狙い：基幹の投稿ネタとして、投稿の継続性を確保。

(2) 投稿募集

県内企業社員から投稿を募る。
・協議会アカウントをフォローし、特定のハッシュタグ (#〇〇) を記載した投稿を募集する。
・良い投稿を選定し、協議会アカウントにてポスト(再投稿)する。
⇒狙い：自発的な発信を促し、発信力の高い人が牽引していく環境づくり。(参加型の情報発信)

発信情報Ⅱ

災害時の建設企業等の対応

(1) 建設業協会による情報収集

協会本部にて、各支部から災害対応に関する情報を収集し、記事を作成。

(2) 県による情報収集

県にて、県庁内・出先事務所から災害対応に関する情報を収集し、記事を作成。

(3) 投稿募集

県内企業社員から投稿を募る。(方法についてはⅠと同様)
⇒狙い：自発的な発信を促す環境づくり、リアルタイム・タイムリーな発信。

発信情報Ⅲ

建設産業の役割

(1) 県による情報収集

県にて、県庁内・出先事務所等から、“建設産業の役割”を発信するための題材として相応しい情報を収集し、記事を作成。

⇒狙い：建設産業の役割・貢献度・意義の発信について、信頼性・説得力を高める。

(2) 投稿募集

県内企業社員から投稿を募る。(方法についてはⅠと同様)
⇒狙い：自発的な発信を促す環境づくり。

発信情報Ⅳ (発展型)

建設産業に関する学び等

開設時は、左記Ⅰ～Ⅲでの発信とし、運用後、発信情報を発展させていく。

例1) 県内企業社員を対象とした、研修・講習・OJT等に関する投稿募集。

例2) 県内建設系学生を対象とした、実習等に関する投稿募集。

投稿記事の作成方法

- 周知方法・・・ (1) チラシ等により、企業(従業員)・建設系学校(学生)へ、当該取組・アカウント(Q Rコード)を周知する。
※チラシ①・・・企業・学校向けに周知を図るもの チラシ②・・・企業向けに取組意義の周知と投稿を促すもの。
(2) 特定のハッシュタグ(#〇〇)の運用により、当該取組に関連する事象に興味を持つ方へも周知を図る。

スケジュール・・・

	12	R3.1	2	3	4~6	7~9	10~12	R4.1~3	・・・
インスタグラム	運用ルール策定 ・運営体制調整 (協議会構成団体からなる事務局を想定)		アカウント開設準備	アカウント開設	事務局で運営状況チェック、 運営ルールの改善検討	同左 ⇒適宜、協議会等へ報告	同左 ⇒他SNS連携の検討	同左 ⇒適宜、協議会等へ報告	同左